

都001	項目名	鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会負担金		新規事業
予算書項目	各種期成同盟会費	ページ	243	所属名
年度	R5	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）			
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】			
目 土木総務費	鳥取豊岡宮津自動車道（山陰近畿自動車道）は、平成6年に地域高規格道路として計画された。全長約120kmのうち、事業化されていない区間があり全線開通の目的が立っていない。関西圏を含めた広域観光の振興のためにも、1日も早い全線開通が待ち望まれている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	190	鳥取市から兵庫県豊岡市の間における地域高規格道路の早期建設を図ることを目的とする。		
本年度要求額	190	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	190	山陰近畿自動車道等の期成会の運営 ・要望活動の実施		
市長段階査定額	190	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和2年度 190千円		
国・県支出金	0	令和3年度 190千円		
地方債	0	令和4年度 190千円		
その他	0			
一般財源	190			
計	190			
備考欄				

都002	項目名	山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金		新規事業
予算書項目	各種期成同盟会費	ページ	243	所属名
年度	R5	都市整備部 都市企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322			
款 土木費	【1次総の施策体系】2404（実施計画関連事業）			
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】			
目 土木総務費	平成25年6月、山陰を縦貫し北陸に接続するとともに山陰から京都、大阪などの京阪神を直接結びニア方式を含めた新幹線の建設を目指し、「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」が設立された。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	50	山陰新幹線の整備計画路線への格上げ、新幹線整備に係る予算拡大の実現等を目的とする。		
本年度要求額	50	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	50	期成会の運営費支援の実施 ・要望活動の実施 ・機運醸成・啓発活動の実施		
市長段階査定額	50	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	令和2年度 50千円		
国・県支出金	0	令和3年度 50千円		
地方債	0	令和4年度 50千円		
その他	0			
一般財源	50			
計	50			
備考欄				

都003	項目名	要望活動事務費	新規事業
予算書項目	要望活動費	ページ	243
年度	R5	所 属 名	都市整備部 都市企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 道路整備・治水対策等について、各期成同盟会での要望活動を行っているが、未だ整備の進んでいない部分が多く見受けられる。 また、高速鉄道についても、山陰新幹線は昭和48年に基本計画路線として閣議決定された後計画が進展しておらず、太平洋側に比べて日本海側の新幹線整備は取り残されている状況である。		
目 土木総務費	【事業の目的及び効果】 各期成同盟会の要望活動により事業のさらなる推進を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 山陰道、鳥取自動車道、山陰近畿自動車道等の期成会の運営。 ・要望活動の実施		
前年度当初予算額	1,076	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
本年度要求額	1,770		
総務部長段階査定額	1,085	【事業の内容】 山陰道、鳥取自動車道、山陰近畿自動車道等の期成会の運営。 ・要望活動の実施	
市長段階査定額	1,085	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 山陰道、鳥取自動車道、山陰近畿自動車道等の期成会の運営。 ・要望活動の実施	
財源内訳		【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
国・県支出金	0	【事業の内容】 山陰道、鳥取自動車道、山陰近畿自動車道等の期成会の運営。 ・要望活動の実施	
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
その他	0	【事業の内容】 山陰道、鳥取自動車道、山陰近畿自動車道等の期成会の運営。 ・要望活動の実施	
一般財源	1,085	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
計	1,085	【事業の内容】 山陰道、鳥取自動車道、山陰近畿自動車道等の期成会の運営。 ・要望活動の実施	
備考欄			

都004	項目名	国土強靱化地域計画策定事業費	新規事業
予算書項目	国土強靱化地域計画策定事業費	ページ	243
年度	R5	所 属 名	都市整備部 都市企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 様々な大規模自然災害から市民の生命や財産を守り、本市の社会経済活動を維持し、迅速に復旧復興できる、強くしなやかな地域づくりを推進することを目的として、平成31年3月に「鳥取市国土強靱化地域計画」を策定した。 令和5年度に策定から5年が経過し、計画期間が期限を迎えることから、計画を見直し、「鳥取市国土強靱化地域計画（第2期）」として策定を行う。		
目 土木総務費	【事業の目的及び効果】 第2期市地域計画の策定にあたっては、第1期市地域計画の各施策の進捗（5か年計画）を評価した上で、国の基本計画や第2期の県地域計画等を踏まえ、31年3月以降に発生した大規模災害（令和元年台風15号、令和2年7月豪雨等）での新たな課題等を検討して計画を見直すことで、「強さとしなやかさ」を備えた強靱な地域づくりを推進していく。		
(単位:千円)	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成		
前年度当初予算額	0	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
本年度要求額	7,967	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
総務部長段階査定額	7,384	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
市長段階査定額	7,384	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
区分	本年度予算額	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
財源内訳		【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
国・県支出金	0	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
地方債	0	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
その他	0	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
一般財源	7,384	【事業の実績】 令和2年度 56千円 令和3年度 82千円 令和4年度 756千円（見込）	
計	7,384	【事業の内容】 国土強靱化地域計画（第2期計画）策定事業 ・鳥取市国土強靱化地域計画改定支援業務 ・策定委員会開催 ・計画書冊子作成	
備考欄			

都005	項目名	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金		新規事業
予算書項目	急傾斜地崩壊対策県営事業負担金		ページ	251
年度	R5		所 属 名	
			都市整備部 都市企画課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款	土木費	【1次総の施策体系】2401		
項	河川費	【事業の経過及び背景】		
目	河川総務費	県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。		
(単位:千円)		【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	91,050	災害に強いまちづくりを進めるため、県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に要する経費の一部を市が負担することにより、急傾斜地対策事業の促進を図る。		
本年度要求額	81,550	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	81,550	県が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する経費負担 ・梶掛地区など39件		
市長段階査定額	81,550	【事業の実績】		
その他財源の内訳		令和2年度 42,997千円		
分担金	0	令和3年度 29,396千円		
負担金	0	令和4年度 18,528千円(見込)		
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
随収入	0			
その他	0			
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	77,400			
その他	0			
一般財源	4,150			
計	81,550			
備考欄				

都006	項目名	盛土規制法関連事業費		新規事業
予算書項目	盛土規制法関連事業費		ページ	251
年度	R5		所 属 名	
			都市整備部 都市企画課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款	土木費	【1次総の施策体系】2401		
項	河川費	【事業の経過及び背景】		
目	河川総務費	令和3年7月に発生した静岡県熱海市の盛土が崩落し土石流が発生した事故を踏まえ、「宅地造成等規制法」を抜本的に改正し、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制を行う「宅地造成及び特定盛土等規制法(通称:盛土規制法)」が令和4年5月27日に公布され、令和5年5月26日に施行されることとなった。		
(単位:千円)		盛土規制法の施行により、都道府県知事及び指定都市・中核市長は、盛土等により人家等に被害を及ぼしうる区域を基礎調査の結果に基づいて規制区域として指定し、規制区域内で行われる盛土等を許可対象として、不適切な盛土等について規制する義務が生じることとなる。		
前年度当初予算額	0	【事業の目的及び効果】		
本年度要求額	7,722	国から示された基本方針と調査実施要領に沿って基礎調査を行い、盛土等により土砂災害の起因となる地形地質や土地利用状況等を踏まえて、速やかに盛土等を規制し、地域の安全を確保する。		
総務部長段階査定額	7,722	【事業の内容】		
市長段階査定額	7,722	盛土規制法施行に伴う規制区域指定のための追加調査業務 ・規制区域の境界設定、規制区域図の作成等		
その他財源の内訳				
分担金	0			
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
随収入	0			
その他	0			
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	3,861			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	3,861			
計	7,722			
備考欄				

都007	項目名	移動等円滑化促進事業費	新規事業
予算書項目	移動等円滑化促進事業費	ページ	253
年度	R5	所 属 名	都市整備部 都市企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市計画係 0857-30-8323		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】		
目 都市計画総務費	平成14年1月に「鳥取市交通バリアフリー基本構想」を策定し、鳥取駅を中心とした公共交通、道路、交通安全に関する整備事業を実施している。		
(単位:千円)	平成30年5月に「高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）」の改正を契機に、高齢者や障がい者等が利用する施設や経路等のバリアフリー化に関する基本的な方針を示すことにより、市民や事業者と広く考え方を共有し、バリアフリー化を促進するために「鳥取市バリアフリーマスタープラン」を令和4年度に策定した。		
前年度当初予算額	5,944	【事業の目的及び効果】	
本年度要求額	16,473	本市における高齢者・障がい者等の日常生活及び社会生活が確保された安全安心なまちづくりを推進するため、重点整備地区における公共交通機関・建築物等の具体的な事業を位置付けるための基本構想を策定し、ハード・ソフト両面から一体的なバリアフリー化の推進を図る必要がある。	
総務部長段階査定額	16,473	【事業の内容】	
市長段階査定額	16,473	・鳥取市バリアフリー基本構想策定業務 ・鳥取市移動等円滑化協議会開催	
財務内訳	本年度予算額	【事業の実績】	
国・県支出金	7,951	令和3年度 5,853千円 令和4年度 5,507千円（見込）	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	8,522		
計	16,473		
備考欄			

都008	項目名	県営街路事業負担金	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	255
年度	R5	所 属 名	都市整備部 都市企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-30-8322		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】		
目 街路事業費	県営街路事業に要する経費については、地方財政法及び県議会議決において市の負担額が定められている。		
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】		
前年度当初予算額	11,700	県が実施する市域内の県道街路事業に要する経費の一部を市が負担することにより、幹線道路の整備を促進し、交通渋滞の緩和、利便性の確保を図る。また、豊かで活力ある地域社会の形成や安心して暮らせる社会構築に大きな役目を果たす。	
本年度要求額	39,585	【事業の内容】	
総務部長段階査定額	39,585	県営街路事業費の一部負担（負担率10%） ・一般県道鳥取府岩美線（立川甕山線）等	
市長段階査定額	39,585	【事業の実績】	
財務内訳	本年度予算額	令和2年度 10,807千円 令和3年度 17,212千円 令和4年度 28,741千円（見込）	
国・県支出金	0		
地方債	35,600		
その他	0		
一般財源	3,985		
計	39,585		
備考欄			

都009	項目名	鳥取県東部鉄道利用促進実行委員会負担金		新規事業
予算書項目	運輸交通関係負担金等	ページ	165	所属名
年度	R5	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326			
款 総務費	【1次総の施策体系】2404（実施計画関連事業）			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	「鳥取県東部地域鉄道利用促進実行委員会」は、JR山陰本線等における鉄道の利用促進を図るとともに、鉄道利用者や地域住民に対するサービス向上と沿線地域の発展に寄与することを目的に、平成23年3月に鳥取県、鳥取市、岩美町、商工会議所、JR西日本等で設立された。			
(単位:千円)	人口減少や自家用車中心の生活スタイルの拡大により、公共交通の利用が減少する中、本市の生活交通の重要な役割を担う鉄道路線の確保維持を図るため、更なる利便性の向上と利用促進が求められている。			
前年度当初予算額	800	【事業の目的及び効果】		
本年度要求額	800	鉄道の利便性向上及び利用促進を図ることで、地域経済産業の振興及び地域の持続的発展に寄与する。		
総務部長段階査定額	800	【事業の内容】		
市長段階査定額	800	・団体旅行、学校活動及び魅力ある旅行商品等への支援 ・利用促進PRキャンペーン・イベントの実施 ・駅アクセスの調整		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
国・県支出金	0	[市負担金額]		
地方債	0	令和2年度 1,000千円		
その他	0	令和3年度 800千円		
一般財源	800	令和4年度 800千円（見込）		
計	800			
備考欄				

都010	項目名	鳥取バスフェスタ実行委員会負担金(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)		新規事業
予算書項目	運輸交通関係負担金等	ページ	165	所属名
年度	R5	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326			
款 総務費	【1次総の施策体系】2404			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 企画費	運転手不足、利用者の減少などにより路線バスの廃止、減便が進行する中、市民の重要な公共交通であるバス交通の改善は喫緊の課題となっている。このような中で、平成31年3月25日に、鳥取商工会議所青年部よりバス交通の改善に向けた政策提言書が提出され、この提言の実現に向け、令和元年9月に「鳥取バスフェスタ実行委員会」が設立された。			
(単位:千円)	【事業の目的・効果】			
前年度当初予算額	0	本イベントを通じて新型コロナウイルス感染症の影響で利用が減少している公共交通の利用促進を図る。		
本年度要求額	2,000	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	2,000	(1) 路線バス等の公共交通の利用促進を目的としたイベント開催経費の一部を負担する		
市長段階査定額	2,000	開催日：令和5年秋頃 会場：未定 内容：交通フォーラム、路線バス車両等の展示、乗り方教室など 事業費：5,000千円（うち県負担金額2,000千円、市負担金額2,000千円）		
区分	本年度予算額	(2) 鳥取バスフェスタ実行委員会構成メンバー 鳥取商工会議所青年部、日ノ丸自動車、日本交通、鳥取県バス協会、麒麟のまち連携中核都市圏各自治体等		
国・県支出金	1,600	【事業の実績】		
地方債	0	第1回：令和元年11月17日 来場者数：約3,000人		
その他	0	第2回：令和3年3月28日 小学生以下約60名でバスラッピングを行う		
一般財源	400	第3回：令和3年11月28日 来場者数：約1,500人		
計	2,000	第4回：令和4年12月4日 来場者数：約1,200人		
備考欄				



都013	項目名	市町村有償運送事業費		新規事業
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	169	所属名
年度	R5	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326			
款 総務費	【1次総の施策体系】2404			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 交通対策費	路線バスや乗合タクシーの減便や廃止等に伴う代替交通として、市有償バスを運行している。			
(単位:千円)	平成18年7月 気高町、鹿野町(気高循環バス)			
前年度当初予算額	27,938	平成23年4月 青谷町(絹見バス)		
本年度要求額	27,856	平成31年4月 河原町・用瀬町・佐治町(南部支線バス) ※令和4年3月廃止		
総務部長段階査定額	27,808	【事業の目的及び効果】		
市長段階査定額	27,808	市有償バスの運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。		
区分	本年度予算額	【事業の内容】		
国・県支出金	4,000	市有償バスの運行		
地方債	4,000	「運行地域」 [路線バス名] [運行事業者]		
その他	2,501	気高町、鹿野町 気高循環バス (株)翼運輸		
一般財源	17,307	青谷町 絹見バス (有)ニュー青谷タクシー		
計	27,808	※運賃：中学生以上200円、小学生100円、障がい者等100円、幼児無料		
備考欄	【事業の実績】			
		[利用者数] [事業費]		
		令和2年度 25,647人 50,549千円		
		令和3年度 20,896人 39,959千円		
		令和4年度 14,263人 28,428千円(見込)		
		※その他財源の使用料は、有償運送バス使用料		

都014	項目名	地域主体型生活交通確保支援事業費		新規事業
予算書項目	生活交通確保対策事業費	ページ	169	所属名
年度	R5	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326			
款 総務費	【1次総の施策体系】2404(実施計画関連事業)			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】			
目 交通対策費	運転者不足が深刻化し、路線バスや乗合タクシー、市有償バスの廃止や減便が続いている。また、公共交通空白地域での自家用車を運転できない高齢者や学生の移動手段の確保が課題となっている。このような中、NPO法人等が運行主体となる自家用有償旅客運送(共助交通)を全市的に推進している。			
(単位:千円)	・共助交通導入地域			
前年度当初予算額	29,141	末恒地区、大和地区、福部町、河原町国英・散岐地区、用瀬町、佐治町		
本年度要求額	39,389	【事業の目的及び効果】		
総務部長段階査定額	38,839	共助交通の運行により地域の実情にあった生活交通を確保し、地域の持続的発展に寄与する。		
市長段階査定額	38,839	【事業の内容】		
区分	本年度予算額	NPO法人やまちづくり協議会が取り組む共助交通に関する事業費を支援する。		
国・県支出金	17,362	・運行補助7団体(補助率10/10)		
地方債	19,200	補助対象経費 運行経費(人件費、燃料代、保険料等)		
その他	0	【事業の実績】		
一般財源	2,277	[利用者数] [市補助金額]		
計	38,839	令和2年度 11,633人 10,467千円		
		令和3年度 10,741人 28,685千円		
		令和4年度 22,672人 29,224千円(見込)		
備考欄				

都015	項目名	鳥取港振興会対策費		新規事業
予算書項目	鳥取港振興対策費	ページ	253	所属名
年度	R5	都市整備部 交通政策課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】交通政策課 0857-30-8326			
款 土木費	【11次総の施策体系】2404（実施計画関連事業）			
項 港湾費	【事業の経過及び背景】 鳥取港振興会は、官民一体となって、鳥取港の施設整備及び利用促進に取り組み、地域経済産業の発展に寄与することを目的として、昭和59年12月5日に設立。市、県、商工会議所及び民間団体で構成され、会員数は55団体。（令和4年度総会時点）			
目 港湾総務費	【事業の目的及び効果】 鳥取港振興会の活動を支援することで、地域産業の振興と地域経済の活性化に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 鳥取港振興会負担金及び活動費の補助 ・ポートセールス活動 ・外国貿易促進事業 ・クルーズ船誘致事業 ・港湾振興に関する情報収集・調査・分析 ・港湾施設の整備に係る要望活動 ・賑わいづくり創出事業			
前年度当初予算額	5,825	【事業の実績】		
本年度要求額	7,154	[貨物取扱量] [事業費]		
総務部長段階査定額	7,154	令和2年度 48万トン 1,338千円		
市長段階査定額	7,154	令和3年度 48万トン 1,620千円		
区分	本年度予算額	令和4年度 50万トン 5,815千円（見込）		
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	7,154		
	計	7,154		
備考欄				

都016	項目名	街なか居住推進事業費		新規事業
予算書項目	都心居住推進事業費	ページ	167	所属名
年度	R5	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331			
款 総務費	【11次総の施策体系】2402（実施計画関連事業）			
項 総務管理費	【事業の経過及び背景】 歴史・文化が蓄積し、病院・交通・公共機関などの都市機能が集積している中心市街地は、子育て世帯から高齢者まで多くの人にとって、便利で豊かな生活を実現し得る地域であるにもかかわらず、近年、空き家や空地などが増加している。			
目 企画費	第4期中心市街地活性化基本計画では、「若者世代のまちなか暮らしの促進」を基本方針とし、既存ストックの利活用を促進するとともに若者世代の転入施策を強化することにより、新規居住者の増加をめざすことにしている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】 住まいに関する総合的な相談窓口の設置やまちなか居住に関する情報発信、空き家を活用した居住に関する支援などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。			
前年度当初予算額	9,412	【事業の内容】 住まいに関する総合相談窓口の設置 ・住まいの情報ネットワーク整備運営 まちなか居住推進のための公的支援の実施 ・鳥取市まちなか空き家改修支援事業 ・空き家の担い手育成事業 ・空き家利活用団体支援事業 まちなか居住体験施設整備運営事業の実施 ・空き家借上げ、運営費		
本年度要求額	10,370	【事業の実績】 令和2年度 6,305千円 令和3年度 6,682千円 令和4年度 7,112千円（見込）		
総務部長段階査定額	10,164	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
市長段階査定額	10,164			
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	2,199		
	地方債	0		
	その他	3,400		
	一般財源	4,565		
	計	10,164		
備考欄				

都017	項目名	遊休不動産利活用推進事業費		新規事業
予算書項目	遊休不動産利活用推進事業費		ページ	167
年度	R5		所 属 名	
			都市整備部 中心市街地整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331 【1次総の施策体系】2402（実施計画関連事業）		
款	総務費		【事業の経過及び背景】 中心市街地では、居住や消費の郊外化、少子高齢化の進展、事業所数の減少などにより、魅力や賑わいが失われつつあるとともに、空き家・空き店舗などの遊休不動産は増加傾向にある。 本市では、平成29年3月に策定した「鳥取市リノベーションまちづくり構想」に基づき、これらの遊休不動産を資源として、今の時代に適した新しい機能を加え再生することで、新たな産業、雇用、居住空間などを生み出し、中心市街地の魅力を高める「リノベーションまちづくり」を進めている。	
項	総務管理費		【事業の目的及び効果】 官民連携により一定のエリアで集中した事業化に取り組み、エリア価値を高めるとともにその効果を中心市街地全体に波及させることを目指す。また、まちづくりに関するプレイヤーが活動しやすい環境づくりを行うことで、民間主導の持続的なまちづくりを促進する。	
目	企画費		【事業の内容】 ・鳥取市まちなか遊休不動産活用マッチング制度の活用の促進 ・リノベーションまちづくり会議の定期開催 ・空き家会議（啓発イベント）の開催 ・遊休不動産活用における専門アドバイザーの派遣 ・民間事業者との連携、伴走支援の実施 ・ワーケーションプログラムの実施 ・リノベーション事業化推進補助金として経費助成	
(単位:千円)		【事業の実績】 令和2年度 34千円 令和3年度 151千円 令和4年度 2,928千円(見込)		
前年度当初予算額	4,106		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
本年度要求額	4,035			
総務部長段階査定額	4,035		【その他財源の内訳】	
市長段階査定額	4,035		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 2,000 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	2,000		
	一般財源	2,035		
	計	4,035		
備考欄				

都018	項目名	中心市街地活性化助成事業費		新規事業
予算書項目	中心市街地活性化推進事業費		ページ	239
年度	R5		所 属 名	
			都市整備部 中心市街地整備課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331 【1次総の施策体系】2402（実施計画関連事業）		
款	商工費		【事業の背景及び経過】 中心市街地では、車社会の進展に伴う都市機能や居住の郊外化等により、少子高齢化や歩行者通行量の減少、空き地・空き店舗の増加が進展しており、魅力と賑わいの創出による再生への取組が求められている。	
項	商工費		【事業の目的及び効果】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援し、中心市街地の集客と賑わい創出を図るほか、中心市街地の活性化に取り組む人材育成につなげる。	
目	商工業振興費		【事業の内容】 ・鳥取市中心市街地賑わい活力向上事業補助金の交付 中心市街地区域内で公募型集客イベント等を実施する者に対するイベント経費の助成。令和5年度より、賑わい創出イベント開催事業：200千円×10件（補助率4/5）に補助内容を見直し。	
(単位:千円)		【事業の実績】		
前年度当初予算額	3,000		[補助件数] [参加者数]	
本年度要求額	2,000		令和2年度 4件 7,440人 令和3年度 5件 7,640人 令和4年度 7件 7,000人(見込)	
総務部長段階査定額	2,000		※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	
市長段階査定額	2,000		【その他財源の内訳】	
区分	本年度予算額		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 2,000 贈収入 0 その他 0	
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	2,000		
	一般財源	0		
	計	2,000		
備考欄				

都019	項目名	中心市街地活性化推進事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	239
-------	---------------	-----	-----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

前年度当初予算額	3,754
----------	-------

本年度要求額	3,723
--------	-------

総務部長段階査定額	3,628	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,628	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	3,628
計	3,628

備考欄
-----

### 事業の概要

【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331

【11次総の施策体系】2402（実施計画関連事業）

【事業の経過及び背景】  
令和5年度より、第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画に基づき中心市街地活性化のための事業推進を図っていくこととしている。

【事業の目的及び効果】  
中心市街地活性化基本計画に掲載する事業を推進し、中心市街地の活性化を図る。具体的には、中心市街地に関する市民への情報発信として、エリア情報誌「わかか」の作成や、来街者の回遊性を高めるためのルートマップ「まちなかマップ」の発行、デジタルサイネージの活用等を行う。

【事業の内容】

- 基本計画及び事業実施（計画）に関する情報の発信
- 中心市街地エリア情報誌「わかか」の発行
- WEB版「わかか」の運用
- まちなかデジタルサイネージの運用
- 中心市街地回遊ルートマップ「まちなかマップ」の発行活用

【事業の実績】

令和2年度	173千円
令和3年度	2,729千円
令和4年度	3,479千円（見込）

都020	項目名	鳥取市ウォークラブル公共空間活用推進補助金(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○
------	-----	---	------	---

予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	239
-------	---------------	-----	-----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

(単位:千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	3,000
--------	-------

総務部長段階査定額	3,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	3,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	2,400
地方債	0
その他	0
一般財源	600
計	3,000

備考欄
-----

### 事業の概要

【問合せ先】中心市街地整備課 0857-30-8331

【11次総の施策体系】2402（実施計画関連事業）

【事業の経過及び背景】  
本市は、ウォークラブル推進都市として「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを推進している。こうした中、令和4年10月14日から27日までの2週間、鳥取駅南側の鉄道記念物公園と山白川沿いの歩道空間を活用した実証事業を行い、公共空間の活用方法を検証した。

【事業の目的及び効果】  
コロナ禍によりイベント等の開催が制限されるなか、まちなかで活用が不十分な公共空間を活用することにより、人が集まり交流できる空間を創出し、公共空間を中心に中心市街地全体への回遊性・滞留性の向上を図る。

【事業の内容】

- 鳥取市ウォークラブル公共空間活用推進補助金の創設
- 第4期中心市街地活性化基本計画の中で、まち歩き推進ゾーンを定めている。まち歩きを推進するために、中心市街地内の公共空間（例：市役所本庁舎跡地、鉄道記念物公園周辺、きなんせ広場）でイベントを実施する3事業者に対し、イベント経費を補助する。
- 事業者：公募を行い審査会にかけ3事業者を選定
- 期間：7日間以上の開催
- 金額：限度100万円
- 補助率：4/5

都021	項目名	まち歩き推進事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○
------	-----	-----------------------------	------	---

予算書項目	中心市街地活性化推進事業費	ページ	239
-------	---------------	-----	-----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	商工業振興費

事業の概要	
【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331	
【11次総の施策体系】 2402 (実施計画関連事業)	
【事業の経過及び背景】 本市は、令和5年度より第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の活性化を図っていくこととしている。また、新たな計画では、中心市街地区域内のゾーン設定の見直しを行い、「まち歩き推進ゾーン」を設け、ウォークアブルな環境を創出することで、居心地が良く歩きたくなるまちなかの推進を図ることとしている。	
【事業の目的及び効果】 XR技術を活用し、まちなか(中心市街地エリア)でその場所に応じたARコンテンツ(例:キャラクター、アート、スポット画像や場所の説明文)をスマートフォン等に表示させ、普段のまち歩きをもっと楽しくすることで、中心市街地での回遊・滞在性の向上を促進し、まちなかの賑わいを創出するもの。 ※XR技術: VR(現実/仮想世界に入り込むことができる)、AR(現実に仮想世界を重ねることができる)、MR(現実に仮想世界を融合させることができる)の総称	
【事業の内容】 市内数か所に中心市街地内の文化観光スポット等に関するARコンテンツを配置し、まちなか情報を知っていただくとともに、まちなかの回遊・滞在の向上を促進するもの。 ・アカウント登録費用 33千円 ・月額ライセンス費 1,980千円(220千円×9月) ・コンテンツ制作業務 11,000千円 ※10コンテンツ程度(動き・音声)	

(単位:千円)	
前年度当初予算額	0

本年度要求額	13,013
--------	--------

総務部長段階査定額	13,013	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	13,013	分担金	0
---------	--------	-----	---

区分	本年度予算額	分担金	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈入金	その他
財源内訳										
国・県支出金	10,410									
地方債	0									
その他	0									
一般財源	2,603									
計	13,013									

備考欄	
-----	--

都022	項目名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費	新規事業	
------	-----	--------------------	------	--

予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	253
-------	----------------	-----	-----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	R5
----	----

会計名	
一般会計	
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

事業の概要	
【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331	
【11次総の施策体系】 2402 (実施計画関連事業)	
【事業の経過及び背景】 平成20、21年度の実証事業で、交通量の減少により余裕の出来た道路空間を活用することで、人が集まる魅力的な空間を生み出せることが実証されたため、基本計画を策定し、市道駅前太平線の整備を行った。	
【事業の目的及び効果】 市道駅前太平線「パード・ハット」の利活用に関する運営業務を地元商店街に委託することで、鳥取駅周辺への集客による賑わい創出を図る。 また、太平線再生プロジェクトの事業効果を最大限に発揮させるため、パード・ハットでのイベント開催を補助し、駅周辺エリアへ来街者を呼び込むことで活性化を図る。	
【事業の内容】 ○イベント開催に係る募集、相談、連絡調整、企画運営、広報業務等を新鳥取駅前地区商店街振興組合に委託 ○パード・ハットで開催されるイベント経費助成の実施	
【事業の実績】	
	[イベント件数] [集客数]
令和2年度	15件 17,400人
令和3年度	13件 14,720人
令和4年度	15件(見込) 15,000人(見込)
※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金	

(単位:千円)	
前年度当初予算額	6,607

本年度要求額	7,017
--------	-------

総務部長段階査定額	7,017	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

市長段階査定額	7,017	分担金	0
---------	-------	-----	---

区分	本年度予算額	分担金	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈入金	その他
財源内訳										
国・県支出金	0									
地方債	0									
その他	5,206							5,206		
一般財源	1,811									
計	7,017									

備考欄	
-----	--

都023	項目名	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	新規事業
予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	253
年度	R5	所属名	都市整備部 中心市街地整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331		
款 土木費	【1次総の施策体系】 2402 (実施計画関連事業)		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 鳥取駅周辺地区は交通の要衝として発展してきたことから、大型店舗や商店街が集中するとともに、公共施設も所在しているなど、都市基盤や地域資源が充実しているが、近年は、交流や経済活動の中心地としての賑わいや活気が減退しつつある。 そのような中、中心市街地活性化基本計画において、駅周辺地区をひとつの重要な核として位置づけ、各種再生に向けた施策を講じてきたところである。		
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 本市が目指す「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向け、鳥取駅周辺の都市機能を高めるとともに、中核市のエントランスとしての鳥取駅周辺の再整備を検討する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・鳥取駅周辺公共空間におけるWi-Fi環境の提供		
前年度当初予算額	834	【事業の実績】 ・鳥取駅周辺空間公衆無線LAN運用 ・ケヤキ広場イルミネーション運用	
本年度要求額	1,324		
総務部長段階査定額	1,324	【事業の目的及び効果】 本市が目指す「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向け、鳥取駅周辺の都市機能を高めるとともに、中核市のエントランスとしての鳥取駅周辺の再整備を検討する。	
市長段階査定額	1,324	【事業の内容】 ・鳥取駅周辺公共空間におけるWi-Fi環境の提供	
区分	本年度予算額	【事業の実績】 ・鳥取駅周辺空間公衆無線LAN運用 ・ケヤキ広場イルミネーション運用	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,324		
計	1,324		
備考欄			

都024	項目名	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○
予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	253	所属名
年度	R5	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2402 (実施計画関連事業)			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 鳥取駅周辺地区は交通の要衝として発展してきたことから、大型店舗や商店街が集中するとともに、公共施設も所在しているなど、都市基盤や地域資源が充実しているが、近年は、交流や経済活動の中心地としての賑わいや活気が減退しつつある。 そのような中、中心市街地活性化基本計画において、駅周辺地区をひとつの重要な核として位置づけ、各種再生に向けた施策を講じてきたところである。			
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 中核市のエントランスである鳥取駅周辺で人々が憩い賑わうことのできる夜間空間の再構築を行い、コロナ禍の閉塞感を打破し、アフターコロナの賑わいの創出と回遊性の向上を図るため、鳥取駅前のバード・ハットの照明設備の再整備を行う。			
(単位:千円)	【事業の内容】 ○バード・ハットライトアップ整備事業 バード・ハットの竣工10周年を記念し、バード・ハットの照明設備を再整備することにより、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。 ○バード・ハットライトアップ整備事業委託費10,000千円 基本照明設備 3,784千円 演出照明設備 4,730千円 プランニング等 946千円 諸経費 540千円			
前年度当初予算額	0			
本年度要求額	10,000			
総務部長段階査定額	10,000	【事業の目的及び効果】 中核市のエントランスである鳥取駅周辺で人々が憩い賑わうことのできる夜間空間の再構築を行い、コロナ禍の閉塞感を打破し、アフターコロナの賑わいの創出と回遊性の向上を図るため、鳥取駅前のバード・ハットの照明設備の再整備を行う。		
市長段階査定額	10,000	【事業の内容】 ○バード・ハットライトアップ整備事業 バード・ハットの竣工10周年を記念し、バード・ハットの照明設備を再整備することにより、賑わいの創出と回遊性の向上を図る。 ○バード・ハットライトアップ整備事業委託費10,000千円 基本照明設備 3,784千円 演出照明設備 4,730千円 プランニング等 946千円 諸経費 540千円		
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	8,000			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,000			
計	10,000			
備考欄				

都025	項目名	鳥取駅周辺憩いのあるにぎわい空間創出事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○
------	-----	---	------	---

予算書項目	鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	ページ	253
-------	----------------	-----	-----

所属名	都市整備部 中心市街地整備課
-----	-------------------

年度	R5
----	----

会計名	一般会計
款	土木費
項	都市計画費
目	都市計画総務費

### 事業の概要

【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-30-8331

【1次総の施策体系】 2402 (実施計画関連事業)

【事業の経過及び背景】  
本市は、令和5年度より第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の活性化を図っていくこととしている。新たな計画では、中心市街地区域内のゾーン設定の見直しを行い、鳥取駅周辺を「まちのエントランスゾーン」と位置付け、歩行者動線の改善、交通結節点機能の強化、観光情報の発信、駅南北の回遊性向上などにより、市の玄関口としての魅力や機能の向上を図ることと併せて、情報発信や健康づくり、子育て支援機能などの市民サービス機能の充実・強化を図ることとしている。

【事業の目的及び効果】  
鳥取市、JR西日本旅客鉄道株式会社山陰支社、JR西日本山陰開発株式会社（シャミネ）等の関係者で組織する実行委員会で、鳥取駅北口のケヤキ広場周辺のオープンスペース等を活用し、人が集まり交流できる憩い空間を創出することで、市の玄関口としての魅力や機能の向上を図る。

【事業の内容】  
鳥取駅北口のケヤキ広場周辺のオープンスペース等を活用し、賑わい実証事業を実施することで、市民等のニーズを把握し、憩いのある賑わい空間の創出を行う。また、ケヤキ広場の環境改善を行う。  
・シャミネ鳥取や駅構内の店舗と連携し、ケヤキ広場やJR用地等にテーブルとイスを設置することで、憩いの空間を来街者に提供する。  
・ケヤキ広場植栽の整理

(単位:千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	5,000
--------	-------

総務部長段階査定額	5,000	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,000	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	4,000
地方債	0
その他	0
一般財源	1,000
計	5,000

備考欄	
-----	--

都026	項目名	河川維持管理費	新規事業	
------	-----	---------	------	--

予算書項目	河川維持管理費	ページ	251
-------	---------	-----	-----

所属名	都市整備部 都市環境課
-----	----------------

年度	R5
----	----

会計名	一般会計
款	土木費
項	河川費
目	河川総務費

### 事業の概要

【問合せ先】 河川係 0857-30-8343

【1次総の施策体系】 3101

【事業の経過及び背景】  
台風や豪雨に伴う河川氾濫による宅地の浸水や道路冠水等の被害を未然に防止するため、河川管理を適切に行う必要がある。

【事業の目的及び効果】  
市民生活の安全確保を図るため、河川施設等の維持管理を計画的に行い、河川の排水機能維持に努め、流域の宅地浸水被害等の軽減を図る。

【事業の内容】  
河川施設の維持管理業務及び準用・普通河川の浚渫業務  
・浚渫業務：内海川など 45河川

【事業の実績】  
令和2年度 28,021千円  
令和3年度 30,876千円  
令和4年度 39,396千円（見込）

※その他財源の使用料は、河川使用料

(単位:千円)

前年度当初予算額	39,396
----------	--------

本年度要求額	79,883
--------	--------

総務部長段階査定額	79,883	その他財源の内訳	
市長段階査定額	79,883	分担金	0
		負担金	0
		使用料	1
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収	0
		その他	0

区分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	66,200
その他	1
一般財源	13,682
計	79,883

備考欄	
-----	--

都027	項目名	普通河川改良事業費		新規事業
予算書項目	普通河川改良事業費	ページ	251	所属名
年度	R5	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-30-8343			
款 土木費	【1次総の施策体系】3101			
項 河川費	【事業の経過及び背景】 台風や豪雨等による河川災害を未然に防止するため、修繕対応では補えない箇所について、年次的に河川の改良を行う必要がある。			
目 河川総務費	【事業の目的及び効果】 治水・環境衛生上重要な河川・法定外水路の改良を行い、流域の浸水被害を軽減することで環境改善を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 河川等の改良に係る工事 ・改良工事:内海川、下味野清水川			
前年度当初予算額	28,500	【事業の実績】 令和2年度 31,901千円 令和3年度 47,971千円 令和4年度 28,500千円(見込)		
本年度要求額	40,700			
総務部長段階査定額	40,700	【事業の内訳】		
市長段階査定額	40,700	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 随収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	40,700			
その他	0			
一般財源	0			
計	40,700			
備考欄				

都028	項目名	治水対策事業費		新規事業
予算書項目	治水対策事業費	ページ	251	所属名
年度	R5	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-30-8343			
款 土木費	【1次総の施策体系】3101(実施計画関連事業)			
項 河川費	【事業の経過及び背景】 台風や豪雨等の発生時に、河川の氾濫により宅地等への浸水被害が発生していることから、豪雨等発生時の緊急対応や浸水対策を行う必要がある。			
目 河川総務費	【事業の目的及び効果】 豪雨時等に既存ポンプ施設等が円滑に稼働するよう点検・修理を行う。また、過去に浸水被害が発生した河川等について、浸水対策工事等を行い、市民の安全確保を図る。			
(単位:千円)	【事業の内容】 既存ポンプ施設等の点検及び修繕、浸水対策に係る測量設計業務及び工事 ・測量設計業務:谷田川測量調査、鹿野町裏川測量設計、青谷町内水対策事業測量詳細設計 ・浸水対策工事:国府町糸谷川、青谷町前田川、福井地内水路 用瀬町鷹狩地内水路、小沢見ポンプ場整備			
前年度当初予算額	96,821	【事業の実績】 令和2年度 63,778千円 令和3年度 79,216千円 令和4年度 81,281千円(見込)		
本年度要求額	189,506			
総務部長段階査定額	178,174	【事業の内訳】		
市長段階査定額	178,174	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 随収入 0 その他 0		
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	1,076			
地方債	157,800			
その他	0			
一般財源	19,298			
計	178,174			
備考欄				

都029	項目名	緑化推進事業費	新規事業
予算書項目	緑化推進事業費	ページ	253
年度	R5	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 平成25年の全国都市緑化フェア開催を契機として、市民の緑化知識の定着、緑化意識の高揚を図る。また、湖山池公園を中心に緑化施策を展開し、緑豊かなガーデンシティ鳥取市として、住みやすい街づくりを推進する。		
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 市内の学校や街区公園などの身近なスポットへ花壇の設置やボランティア団体の育成を行うことで、市民の緑化意識の高揚を図るとともに、更なる緑化活動を推進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ナチュラルガーデンによる身近な緑化の推進等 ・ナチュラルガーデン関連業務（花壇設置、ボランティア育成業務など） ・緑化推進業務（広場芝生化補助金、緑化PRなど）		
前年度当初予算額	5,514	【事業の実績】 令和2年度 4,553千円 令和3年度 4,727千円 令和4年度 5,114千円（見込）	
本年度要求額	3,783		
総務部長段階査定額	3,783	【事業の内訳】	
市長段階査定額	3,783	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	50	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,733	
	計	3,783	
備考欄			

都030	項目名	公園整備事業費	新規事業
予算書項目	公園整備費	ページ	255
年度	R5	所 属 名	都市整備部 都市環境課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344		
款 土木費	【1次総の施策体系】2401		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 社会資本整備総合交付金（公園事業）、起債等を活用し、公園事業を推進する。		
目 都市公園整備費	【事業の目的及び効果】 緑の拠点となる、都市公園・近隣公園・街区公園及び公共空地の整備を進めることにより、市民が安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 公園施設の更新 ・公園施設更新工事：美萩野西山公園、鹿野町温泉公園		
前年度当初予算額	200	【事業の実績】 令和2年度 80,578千円 令和3年度 85,869千円 令和4年度 35,090千円（見込）	
本年度要求額	13,830	※その他財源の諸収入は、県道鳥取倉吉線拡張工事に係る県補償費	
総務部長段階査定額	13,518	分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 1,518 その他 0	
市長段階査定額	13,518		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	10,800	
	その他	1,518	
	一般財源	1,200	
	計	13,518	
備考欄			

都031	項目名	公園整備事業費(コロナ克服・新時代開拓臨時交付金)	新規事業	○																				
予算書項目	公園整備費	ページ	255	所 属 名																				
年度	R5	都市整備部 都市環境課																						
会計名	事業の概要																							
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344																							
款 土木費	【11次総の施策体系】2401																							
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】																							
目 都市公園整備費	現在策定中の第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、中心市街地区域内のゾーン設定が見直され、鳥取駅周辺を「まちのエントランスゾーン」と位置付けられる予定である。このゾーンは、まちなかウォークアブル区域でもあり、鳥取駅南北の回遊性を向上させるには「居心地が良く歩きたくなるまちなか創出のため」休養施設となる都市公園等を憩いの空間の拠点としてリニューアルし滞在快適性等の向上を図る必要がある。																							
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】																							
前年度当初予算額	0	中心市街地活性化基本計画に基づき、コロナ克服・新時代開拓臨時交付金を活用し、憩いの空間となる鉄道記念物公園、高架記念公園、風紋広場をリニューアルし滞在快適性等の向上を図るとともに、市民が安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。																						
本年度要求額	5,000	【事業の内容】																						
総務部長段階査定額	5,000	都市公園リノベーション検討調査業務																						
市長段階査定額	5,000	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	0																							
その他	0																							
区分	本年度予算額	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>本年度予算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,000</td> </tr> </table>			区分	本年度予算額	国・県支出金	4,000	地方債	0	その他	0	一般財源	1,000	計	5,000								
区分	本年度予算額																							
国・県支出金	4,000																							
地方債	0																							
その他	0																							
一般財源	1,000																							
計	5,000																							
財源内訳																								
備考欄																								

都032	項目名	公園芝生化推進事業費	新規事業	
予算書項目	芝生化推進事業費	ページ	255	所 属 名
年度	R5	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】公園係 0857-30-8344			
款 土木費	【11次総の施策体系】2401 (実施計画関連事業)			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】			
目 公園管理費	近年、校庭芝生化、公園芝生化が全国的に話題となっており、実施例も全国各地で増えており、鳥取市でも公園芝生化について市民のニーズが高まっている。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	16,208	既存の都市公園、公共空地を芝生化することにより、草刈り等の維持管理費用の縮減を図るとともに緑豊かなうらおいのあるまちづくりを目指す。		
本年度要求額	21,227	市民が直接事業に参加することにより「協働」意識の高揚を図りつつ、芝生化による安全快適な遊び場の提供、環境保全などの効果を高める。		
総務部長段階査定額	18,618	【事業の内容】		
市長段階査定額	18,618	公園等芝生化推進業務、芝生維持管理業務 ・協働による芝生化：元魚町公園 (120㎡)		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳		令和2年度 20,588千円 令和3年度 12,228千円 令和4年度 16,157千円 (見込)		
国・県支出金	0	※その他財源の繰入金は、ふるさと納税基金繰入金		
地方債	0			
その他	18,618			
一般財源	0			
計	18,618			
備考欄				

都033	項目名	道路管理費	新規事業
予算書項目	道路管理費	ページ	247
年度	R5	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係、保全係、維持係 0857-30-8351		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 管理すべき市道延長の増加、道路施設の増加、老朽化により一定規模の管理費・維持補修費が必要である。		
目 道路維持費	【事業の目的及び効果】 道路及び道路施設等の維持作業、損傷箇所の修繕を行い、もって市道を適切に管理する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 定期的な道路パトロール、道路及び道路施設等の損傷箇所の修繕、市道沿線の除草、植栽の剪定管理、関連施設（鳥取駅広場、鳥取大学前駅広場、ポンプ場等）の維持管理、冠水対策施設維持管理、側溝浚渫、街路灯の補修等を直営若しくは業者等委託、資材支給等により実施する。		
前年度当初予算額	308,675	【事業の実績】 令和2年度 298,333千円 令和3年度 303,426千円 令和4年度 313,075千円（見込）	
本年度要求額	334,509	※その他財源の使用料は、道路占用料 ※その他財源の手数料は、証明手数料 ※その他財源の諸収入は、自動車損害賠償保険料、および市道美術館通り整備に係る県負担金（鑑定料）	
総務部長段階査定額	319,096	その他財源の内訳	
市長段階査定額	319,096	分担金	0
		負担金	0
		使用料	60,759
		手数料	82
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	1,977
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	62,818		
一般財源	256,278		
計	319,096		
備考欄			

都034	項目名	一般道補修費	新規事業
予算書項目	一般道補修費	ページ	247
年度	R5	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】保全係、維持係、改良係 0857-30-8351		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保すべく道路施設を維持する。		
目 道路維持費	【事業の目的及び効果】 地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 ・地区要望（側溝改良、歩道改良、法面補修など）による道路工事を実施する。 ・市道山上2号線道路修繕工事 ・玉川住宅団地前線排水対策工事 ・道路施設長寿命化事業（舗装、カーブミラー、道路照明）		
前年度当初予算額	197,973	【事業の実績】 令和2年度 199,977千円 令和3年度 194,948千円 令和4年度 197,973千円（見込）	
本年度要求額	229,372	※その他財源の諸収入は、道路工事に伴う下水マンホール蓋調整に係る負担金	
総務部長段階査定額	223,439	その他財源の内訳	
市長段階査定額	223,439	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	1,650
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	74,800		
その他	1,650		
一般財源	146,989		
計	223,439		
備考欄			

都035	項目名	除雪費	新規事業
予算書項目	除雪関係費	ページ	247
年度	R5	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】管理係 0857-30-8351		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401、3101（実施計画関連事業）		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 冬季の生活路線の円滑な交通を確保する。		
目 道路維持費	【事業の目的及び効果】 幹線、バス路線を主とした市道の除雪を行い円滑な交通を確保する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 小型除雪機の点検及び修繕費、積雪等自動観測器の保守点検、除雪機械運転育成支援事業補助金等。 町内会へ小型除雪機の貸与、リース業者の活用、除雪車両の整備、貸し出し用排雪装置（スノーブラウ）、除雪機械の車庫の整備等を進める。		
前年度当初予算額	7,803	【事業の実績】 令和2年度 475,222千円 令和3年度 693,214千円 令和4年度 286,036千円（見込）	
本年度要求額	13,110		
総務部長段階査定額	13,110	その他財源の内訳	
市長段階査定額	13,110	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	13,110		
計	13,110		
備考欄			

都036	項目名	社会資本整備総合交付金事業費	新規事業
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	249
年度	R5	所 属 名	都市整備部 道路課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】改良係 0857-30-8531		
款 土木費	【11次総の施策体系】2401		
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 社会資本整備総合交付金による市道整備を推進する。		
目 道路新設改良費	【事業の目的及び効果】 市道の新設・拡幅や橋梁架替などを行うことにより、利用者の利便性向上を図るとともに、安全な道路環境を整える。		
(単位:千円)	【事業の内容】 社会資本整備総合交付金（道路局）（交付率50%） ・津野線など8路線		
前年度当初予算額	67,867	【事業の実績】 令和2年度 106,279千円 令和3年度 84,090千円 令和4年度 67,867千円（見込）	
本年度要求額	104,386		
総務部長段階査定額	104,386	その他財源の内訳	
市長段階査定額	104,386	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	51,500		
地方債	48,700		
その他	0		
一般財源	4,186		
計	104,386		
備考欄			

都037	項目名	防災・安全交付金事業費		新規事業
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	249	所属名
年度	R5	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 保全係、維持係、改良係 0857-30-8351			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2401（実施計画関連事業）			
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 防災・安全交付金による市道整備を推進する。			
目 道路新設改良費	【事業の目的及び効果】 安全で安心できる生活空間の整備のため、危険箇所の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、道路上の安全・安心を確保する。			
(単位:千円)	【事業の内容】 防災・安全交付金事業（道路局）（交付率50%、55%） ・ 中大路雲山線など14路線 ・ 橋梁点検、トンネル点検等 ・ 小型除雪機の購入			
前年度当初予算額	345,782	【事業の実績】 令和2年度 331,146千円 令和3年度 452,820千円 令和4年度 496,082千円（見込）		
本年度要求額	680,525			
総務部長段階査定額	597,465	その他財源の内訳		
市長段階査定額	597,465	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	300,215			
地方債	242,000			
その他	0			
一般財源	55,250			
計	597,465			
備考欄				

都038	項目名	交通安全施設事業工事費		新規事業
予算書項目	交通安全施設事業費	ページ	251	所属名
年度	R5	都市整備部 道路課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 維持係 0857-20-8351			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2401			
項 道路橋梁費	【事業の経過及び背景】 交通安全施設を配置することで事故を防止する。			
目 交通安全施設事業費	【事業の目的及び効果】 自動車、自転車、歩行者等の円滑かつ安全な通行を確保するため、交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕を行う。			
(単位:千円)	【事業の内容】 交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、反射ポール、路面表示等）の設置、修繕を行う。			
前年度当初予算額	20,159	【事業の実績】 令和2年度 19,496千円 令和3年度 19,548千円 令和4年度 20,159千円（見込）		
本年度要求額	21,061			
総務部長段階査定額	21,061	その他財源の内訳		
市長段階査定額	21,061	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	1,300			
その他	0			
一般財源	19,761			
計	21,061			
備考欄				

都039	項目名	福祉のまちづくり推進事業費		新規事業
予算書項目	福祉のまちづくり推進事業費	ページ	245	所属名
年度	R5	都市整備部 建築指導課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 審査係 0857-30-8361			
款 土木費	【1次総の施策体系】 2401（実施計画関連事業）			
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 高齢者、障がい者等を取り巻く様々な障壁を除去することによって、生きがいを 持ちながら生活できる社会を実現する。			
目 建築指導費	【事業の目的及び効果】 バリアフリー法及び福祉のまちづくり条例の基準に基づいて整備を行う民間の特 定建築物の建築主に対し、整備に要する費用の一部を交付することにより、福祉の まちづくりを推進していく。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	5,000	・ 特別特定建築物（特定建築物）の既存のトイレ改修・既存の玄関改修 ・ 特別特定建築物への洋便器等の整備・手すりの整備・点字ブロックの整備 ・ 特定建築物へのエレベーター設置・オストメイト設置・車いす駐車場の整備 ・ 当該年度計画：4件程度の助成		
本年度要求額	5,500	整備に要する費用：8,800千円 ・ 整備に要する費用の2/3（1/2）を補助		
総務部長段階査定額	5,500	財源内訳		
市長段階査定額	5,500	国：1/3（1/4） 2,750千円 県：1/6（1/8） 1,374千円 市：1/6（1/8） 1,376千円		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳		令和2年度 3件 令和3年度 6件 令和4年度 4件（見込）		
国・県支出金	4,124	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	0	使用料 0		
一般財源	1,376	手数料 0		
計	5,500	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		雑収入 0		
		その他 0		
備考欄				

都040	項目名	石綿改修支援事業費		新規事業
予算書項目	石綿改修支援事業費	ページ	245	所属名
年度	R5	都市整備部 建築指導課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 建築指導係 0857-30-8362			
款 土木費	【1次総の施策体系】 3101			
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 アスベストによる健康被害が社会問題となっていることから、吹付けアスベスト 等が使用されている建築物に対して飛散防止措置を施す必要がある。			
目 建築指導費	【事業の目的及び効果】 健康に大きな被害を及ぼすアスベストを使用している建築物の所有者に対して、 国の交付金事業、県の補助事業を活用してアスベストの飛散防止措置に係る費用の 一部を助成し、市民の健康被害の防止及び生活環境の保全に資することを目的とす る。			
(単位:千円)	【事業の内容】			
前年度当初予算額	16,670	アスベストの含有調査及び除去等の工事に対して助成事業を行う。		
本年度要求額	10,501	①対象建築物：吹付けアスベスト又はアスベスト含有吹付けロックウールが施工 された建築物（国の他の助成を受けていない建築物） ②対象工事：除去、封じ込め、囲い込み		
総務部長段階査定額	10,501	【事業の実績】		
市長段階査定額	10,501	・ アスベスト含有調査 令和2年度 2件 令和3年度 10件 令和4年度 5件（見込）		
区分	本年度予算額	・ アスベスト除去 令和2年度 4件 令和3年度 1件 令和4年度 2件（見込）		
財源内訳		※補助率		
国・県支出金	9,499	①アスベスト工事費：国：1/3、県：1/4、市：1/12		
地方債	0	②アスベスト調査費：国：10/10		
その他	0	分担金 0		
一般財源	1,002	負担金 0		
計	10,501	使用料 0		
		手数料 0		
		財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		雑収入 0		
		その他 0		
備考欄				

都O41	項目名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費		新規事業
予算書項目	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費	ページ	245	所属名
年度	R5	都市整備部 建築指導課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】建築指導係 0857-30-8362 【1次総の施策体系】3101（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため「鳥取市耐震改修促進計画」を策定し、住宅の耐震化率を95%とする目標を掲げている。この目標を達成するため「鳥取市震災に強いまちづくり促進事業」を創設して耐震化事業に取り組んでいる。 【事業の目的及び効果】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため、国の交付金と県の補助事業を活用して耐震診断、補強設計、耐震改修を行う建築物の所有者に対して助成を行う。 【事業の内容】 ①助成対象者 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及び一般建築物などの所有者（木造一戸建て住宅は、平成12年5月31日以前に建築されたもの） 道路に面した危険なブロック塀の所有者 現行基準に合わない屋根瓦の設置者 ②事業内容 耐震診断：一戸建て住宅、一般建築物と共同住宅 補強設計：一戸建て住宅、共同住宅、大規模建築物 耐震改修：一戸建て住宅、共同住宅、大規模建築物 危険なブロック塀の撤去・改修（基礎の除却拡充）、屋根瓦耐風対策（新規） ③当該年度計画 [耐震診断] [補強設計] [耐震改修] [ブロック塀撤去] [ブロック塀改修] 計画 65件 15件 15件 25件 12件 【事業の実績】 [耐震診断] [補強設計] [耐震改修] [ブロック塀撤去] [ブロック塀改修] 令和2年度 32件 7件 7件 20件 7件 令和3年度 52件 8件 6件 22件 12件 令和4年度 73件 12件 13件 18件 9件（見込）			
（単位：千円）	前年度当初予算額	37,376		
	本年度要求額	42,388		
総務部長段階査定額	40,888	その他財源の内訳		
市長段階査定額	40,888	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		随収入	0	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	30,138		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	10,750		
	計	40,888		
備考欄				

都O42	項目名	空家対策事業費		新規事業
予算書項目	空家対策事業費	ページ	245	所属名
年度	R5	都市整備部 建築指導課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】建築指導係 0857-30-8362 【1次総の施策体系】2401（実施計画関連事業） 【事業の経過及び背景】 近年、管理されないまま放置され老朽化した空き家が増えつつある。このような老朽化した空き家等は、市民の暮らしの安全・安心を阻害しかねないものとなっている。 【事業の目的及び効果】 空き家の所有者等に対し、必要な指導又は協力の要請を行い、空き家等による災害を未然に防止するとともに良好な景観及び生活環境の創生に寄与することを目的とする。 【事業の内容】 1. 鳥取市空家等対策協議会を開催し、行政措置の審議等を行う。 ①空家等対策協議会委員（8名） 市長、学識経験を有する者（法律・建築・不動産・文化）、鳥取市景観形成審議会の委員、民間団体に属する者、公募による者 ②事務局 建築指導課 ③開催 年3回を予定 2. 管理不全な状態を解消するため、解体費用に対して補助を行う。 ①対象戸：特定空家等に認定され、必要な措置を講じるよう指導・勧告された戸建て住宅（解体費用の1/2かつ限度額600千円及び残置物処分がある場合はその費用の1/2かつ限度額200千円を加える） ②当該年度計画：15件 3. 空家実態調査 【事業の実績】 除却補助件数 令和2年度：8件 令和3年度：9件 令和4年度：10件（見込） ※その他財源の手数料は、建築確認申請手数料 ※その他財源の諸収入は、緊急安全措置等に対する自己負担金等			
（単位：千円）	前年度当初予算額	13,865		
	本年度要求額	29,087		
総務部長段階査定額	29,087	その他財源の内訳		
市長段階査定額	29,087	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	2,861	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		随収入	310	
		その他	0	
区分	本年度予算額			
財源内訳	国・県支出金	15,950		
	地方債	0		
	その他	3,171		
	一般財源	9,966		
	計	29,087		
備考欄				

都O43	項目名	定期借地権付土地分譲事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	財産管理費	ページ	163
-------	-------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

会計名	一般会計
款	総務費
項	総務管理費
目	財産管理費

(単位:千円)

前年度当初予算額	17,326
----------	--------

本年度要求額	35,265
--------	--------

総務部長段階査定額	35,265
-----------	--------

市長段階査定額	35,265
---------	--------

区分	本年度予算額
国・県支出金	0
地方債	0
その他	1,874
一般財源	33,391
計	35,265

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	1,874
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

備考欄	
-----	--

### 事業の概要

【問合せ先】住宅係 0857-30-8371  
 【1次総の施策体系】2201(実施計画関連事業)  
 【事業の経過及び背景】  
 鹿野町湯川団地及び青谷町望町団地(所有:鳥取市土地開発公社)では、分譲を促進するため、土地を利用(賃借)することで土地購入より少ない資金で住宅が持てる「定期借地権付土地制度」を平成24年度から導入している。令和2年度は、定期借地権賃料を引き下げ、制度利用の向上を図った。  
 ○定期借地条件  
 用途:借受人が移住する専用又は店舗併用住宅  
 借地期間:51年(借地期間50年+建物撤去期間1年)  
 借地保証料:100万円(建物撤去後、土地を返還又は購入の場合に全額返還)  
 【事業の目的及び効果】  
 鹿野町湯川団地及び青谷町望町団地において、令和元年度開通した鳥取西道路による利便性の向上等を踏まえ、更なる分譲を推進するため、定期借地権付土地制度の利用のメリットなど積極的な広報・PRを行う。  
 【事業の内容】  
 ・定期借地権付土地制度の利用促進(土地購入費計上) 25,167千円  
 ・テレビCM・PRチラシの製作・新聞広告等PR・広報を実施 1,874千円  
 ・土地開発公社へ分譲販売促進事務費を補助 8,224千円  
 ・青谷町望町団地2区画分譲  
 ・鹿野町湯川団地2区画分譲  
 【事業の実績】  
 分譲実績 ※( )は分譲数のうち定期借地権契約件数  
 令和2年度 2件(0件)  
 令和3年度 3件(2件 湯川団地)  
 令和4年度 4件(2件 湯川団地、1件 望町団地)  
 ※全体:湯川団地6件 望町団地4件  
 ※その他財源の財産収入は、定期借地権付土地貸付料

都O44	項目名	住宅セーフティネット事業費	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	住宅セーフティネット事業費	ページ	257
-------	---------------	-----	-----

年度	R5
----	----

所属名	都市整備部 建築住宅課
-----	----------------

会計名	一般会計
款	土木費
項	住宅費
目	住宅管理費

(単位:千円)

前年度当初予算額	7,760
----------	-------

本年度要求額	10,712
--------	--------

総務部長段階査定額	10,352
-----------	--------

市長段階査定額	10,352
---------	--------

区分	本年度予算額
国・県支出金	7,764
地方債	0
その他	0
一般財源	2,588
計	10,352

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

備考欄	
-----	--

### 事業の概要

【問合せ先】住宅係 0857-30-8371  
 【1次総の施策体系】2401(実施計画関連事業)  
 【事業の経過及び背景】  
 国は、高齢者・低額所得者等の住宅確保要配慮者(以下「住宅要配慮者」という。)に対し、民間の空家・空室を活用した住宅供給を促進するため、①住宅要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅の登録、②登録住宅の改修や住宅要配慮者の入居に対する経済的支援、③住宅要配慮者の居住支援の3点を柱とする「住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律(住宅セーフティネット法)」の改正を平成29年10月に行った。本市は国に呼応し、平成30年度に住宅セーフティネット補助制度を創設した。  
 【事業の目的及び効果】  
 入居を拒まない民間賃貸住宅の供給を促進するため、入居者への経済的支援を行い、高齢者、障がい者、子育て世代等の住宅要配慮者の居住の確保を図る。  
 【事業の内容】  
 ①登録住宅の改修への補助 1件  
 ・補助率2/3(限度額200万円/戸)(国1/3、県1/6、市1/6)  
 ②登録住宅入居の低額所得者に対する家賃・家賃債務保証料の低廉化支援  
 ア 家賃低廉化への補助 19件  
 ・補助率10/10(限度額4万円/月・戸)(国1/2、県1/4、市1/4)  
 イ 家賃債務保証料低廉化への補助 2件  
 ・補助率10/10(限度額6万円/戸)(国1/2、県1/4、市1/4)  
 【事業の実績】  
 令和2年度 家賃低廉化補助件数 6件  
 令和3年度 家賃低廉化補助件数 11件  
 令和4年度 家賃低廉化補助件数 15件(見込)

都045	項目名	西浜団地ストック総合改善事業工事費		新規事業
予算書項目	ストック総合改善事業費	ページ	259	所属名
年度	R5	都市整備部 建築住宅課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】住宅建設係 0857-30-8372			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401			
項 住宅費	【事業の経過及び背景】			
目 公営住宅建設費	市営住宅気高町西浜団地（気高町北浜二丁目地内）は、昭和53年度から56年度に3棟36戸を建設した団地で、建物の老朽化が進んでいることから、平成29年度からストック改善事業に着手した。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
前年度当初予算額	83,415	気高町西浜団地の老朽化に伴うストック改善を行い、高齢者などの安全や利便性に配慮した住宅にリフォームすることにより、住環境の改善と施設の長寿命化を図る。		
本年度要求額	151,368	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	151,368	56年棟改修工事（令和4年度～令和5年度／債務負担行為）		
市長段階査定額	151,368	・12戸⇒10戸へ間取りの改善		
		・外壁・屋上防水等の劣化部分を改修及び外構整備等		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳		平成29年度：53年棟改修工事実施設計		
国・県支出金	74,974	平成30年度：53年棟改修工事（平成30年度～令和元年度／債務負担行為）		
地方債	76,300	54年棟改修工事実施設計		
その他	0	令和元年度：54年棟改修工事（令和元年度～令和2年度／債務負担行為）		
一般財源	94	56年棟改修工事実施設計		
計	151,368	令和4年度：56年棟改修工事着手（令和4年度～令和5年度／債務負担行為）		
備考欄				

都046	項目名	市営住宅長寿命化対策費		新規事業
予算書項目	公営住宅等長寿命化対策費	ページ	259	所属名
年度	R5	都市整備部 建築住宅課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】住宅建設係 0857-30-8372			
款 土木費	【1次総の施策体系】2401（実施計画関連事業）			
項 住宅費	【事業の経過及び背景】			
目 公営住宅建設費	本市が管理している市営住宅の維持管理について、令和3年度に鳥取市営住宅長寿命化計画を改定し、計画的な整備と適正な維持管理を行っている。			
(単位:千円)	市営住宅大森団地RG棟（相生町三丁目地内）は、昭和58年度から60年度に4棟60戸を建設した団地で、建物の老朽化が進んでいることから、令和2年度からストック改善事業に着手した。			
前年度当初予算額	14,963	【事業の目的及び効果】		
本年度要求額	88,290	大森団地RG棟の老朽化に伴うストック改善を行い、高齢者などの安全や利便性に配慮した住宅にリフォームすることにより、住環境の改善と施設の長寿命化を図る。		
総務部長段階査定額	88,290	【事業の内容】		
市長段階査定額	88,290	大森団地RG2棟改修工事（令和5年度～令和6年度／債務負担行為）		
		・既設住宅11戸の間取りの改善		
		・外壁・屋上防水等の劣化部分を改修、外物置・自転車置場・外構改修等		
区分	本年度予算額	【事業の実績】		
財源内訳		令和2年度：大森団地RG1棟実施設計		
国・県支出金	44,145	令和3年度：大森団地RG1棟改修工事		
地方債	44,100	大森団地RG2棟実施設計		
その他	0	令和4年度：大森団地RG3棟実施設計		
一般財源	45			
計	88,290			
備考欄				